



「お父さん、釣りに行こう！」

とうかさんを「加藤さん」と言ってしまった太郎くん、出店のしょうもないおもちゃの鮫を釣り上げるくじ引きをして本当の釣りがしたくなったようです。よし！と5時起きでいつもの池に出発です。朝早くはよくつれる“朝まずめ”の時間帯、期待できます。いざ！とルアーを投げてはリールを巻く、を繰り返しますが・・・全然釣れません。「もう帰ろうか？」なんて話している矢先、太郎くん自分を釣っちゃいました。手からルアーをぶら下げ、泣いています。運良く大事には至らず血が出ただけでしたが完全に心が折れた太郎くんでした。釣りはパチンコや競馬と同じ仲間、初心者には早々に良い事が起きるのが世の常なのに・・・今回の釣りも厳しいものでした。

『僕ちん』の一大事

こんにちは。経理の松本です。今回は、我が家の僕ちんにおこったこの春の大事件についてです。我が家の僕ちんと小娘は母に似たのか、歯並びが悪く、二人とも只今、矯正中です。そのうえ、僕ちんには普通、人間の歯は28本しかないはずなのになぜか29本目が・・・しかも鼻に向かって元よく伸びていたのです。このままほっとく訳にもいかず、今春「もう痛みに耐えられるだろう」と主治医の判断で手術でとることになり、もう大騒ぎ。血を見ただけで、なぜか涙が流れる僕ちん。(ちなみに、僕ちんこの春、めでたく中学生になってるんですが・・・)



＜これが29本目の歯↑＞

すったもんだした挙げ句、歯のある場所が悪かったのが幸いして、全身麻酔で行なわれ、僕ちんが、ぐっすり眠っている間に、あっけなく終わってしまいました。

床暖房の工事ってどんな事しているの??

はい!こんな事をしています。

電気式IPネル工事の様子です。電気式IPネルには電線を接続するスペースがあり、安全の為、この中で結線をする事が法律で決まっています。電気工事士がピースリープという結線の金具を圧着ペンチで「ギュッ!」とかしめて結線し将来にわたって安全であるように工事を行っています。法律は守らないとね ♥♥♥



いつもお世話になりありがとうございます。いよいよ7月です。暑さ寒さどちらも苦手な汗かきの東です。暑くなるとただでさえ汗かきの私が暑苦しく見えるのに、床暖房の話を持って行くといやがられてしまいます。夏は私たち床暖房の営業には、心身共に疲れる季節です。さて、その疲れ切った心を癒してくれるのは、帰宅した私を温かく迎えてくれる・・・なのです。そう2匹のネコなのです。我が家には、10才の黒いネコと8才の白いネコがいます。足音で解るのでしょ、玄関をガチャッと開けると、「ニャー」という声で出迎えてくれます。どちらも他の色が混じっていない真っ黒と真っ白で、目を閉じて寝ていると黒いクッションと白いクッションのようです。寝転んでいるとすぐに体に乗ってきてかわいいモノです。皆さんの疲れを癒してくれるものは何ですか? さあ、今日は早く帰ろっと。



床暖房のまめ知識

今回はランニングコスト(床暖房の運転費用)について考えてみましょう。

「建物を暖房する」とはどういう事でしょうか?それは、「屋根・壁・窓・隙間から外に逃げる熱を暖房機からの熱でまかなう」という事です。外に逃げる熱は室温と外気温の差が大きいほど(外気温が低いほど)多くなります。(図1)また、断熱が良い建物ほど少なくなります。つまり、同じ建物を同じように暖房するのであればどのような熱源機を採用しても必要な熱量は同じなのです。さて、ランニングコストは2つの要因で決まります。

表1 燃料単価

熱源	単価	単位
電気(中国電力)	28.08円	1KWh=860Kcal
都市ガス(広島ガス)	186.89円	1mf=11,000Kcal
都市ガス(福山ガス)	135.49円	1mf=11,000Kcal
灯油(近所のガソリンスタンド)	74.0円	1リットル=8,240Kcal

注) 電気・都市ガスは使用量で料金が変わるため、当てはまりそうな料金を使用しています。原料費調整制度により毎月変動します。

表2 10,000Kcal当たりの燃料単価

熱源	単価
電気(中国電力)	326.28円
都市ガス(広島ガス)	169.72円
都市ガス(福山ガス)	123.17円
灯油(近所のガソリンスタンド)	89.81円

表3 効率を調整後の10,000Kcal当たりの燃料単価

熱源	単価
電気(中国電力)	326.28円
都市ガス(広島ガス)	233.37円
都市ガス(福山ガス)	169.35円
灯油(近所のガソリンスタンド)	112.28円

注) 都市ガス・灯油式は以下の効率です。
都市ガス: 熱源機効率 80% 配管よりの損失 10%
灯油: 熱源機効率 88% 配管よりの損失 10%

1つめは【熱源機の燃料単価】です。

(表1)の単価を見て下さい。各方式の熱源単価です。単位が違い比較をするのが難しいので同じ放熱量にしたのが(表2)です。

2つめは【熱源機のシステム効率】です。

電気式の効率は100%です。ガス・灯油式は床暖房までの配管でのロスが15%程度、さらにガス・灯油式熱源機は100%では運転出来ず、15%程度ロスがあります。

以上を考慮した単価が(表3)です。電気式が一番高い単価です。しかし電気式はほとんどメンテナンスが必要ありません。逆にガス・灯油式の単価はそうでもありませんが数年経過するとメンテナンスが必要です。熱源機が壊れた場合の修理費、買い替えとなると10数万円掛かる場合もあります。毎月の費用か? 10数年後の費用か? どちらが良いかは考え次第だと思います。近年、電気の契約には時間帯で単価の違うファミリータイム契約やオール電化契約、ガスの契約にはたくさん使えばお得な床暖房料金などいろいろな契約があります。これらは建物全体のシステムで変動しますので生活様式全体で考えなければいけません。個別での検討が必要です。結局ランニングコストを下げるためには、1にも2にも断熱の良い建物を作る事なのです。そうすれば、冷暖房両方の料金が下がりますよ。

くまがぽが新聞

2010・7
Vol. 19

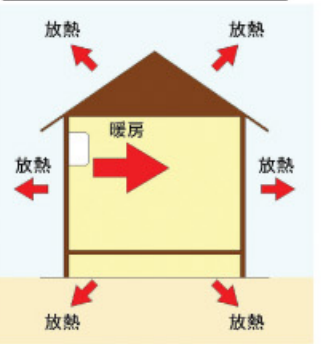


図1

床暖房のことなら私たちにおまかせ下さい!!

サン・フロアホーム株式会社

広島市安芸区矢野東4-13-10

☎ 082-888-5137
FAX 082-888-5243
www.sanfuroa.com
info@sanfuroa.com